

に「小児の在宅医療における多職種連携」についてご発表をいただきました。

当日は気温35℃を超える厳しい残暑になりました。参加者数を心配いたしました。結局232人もの方々にご参加いただきました。医師、看護師、薬剤師、MSWなどがそれぞれの立場で意見を出し合い、共通認識を深めていく場面がしばしば見られました。

第15回広島支部学術集会

学術集会会長：広島市立広島市民病院院長 荒木康之



会場風景

2019年9月7日(土)に広島市立広島市民病院中央棟10階講堂にて第15回日本医療マネジメント学会広島支部学術

集会を開催いたしました。当日は、県内の医療機関や医療関連企業を中心に115名の参加を頂きました。

今回は3つのテーマでシンポジウムを行いました。第一部では「接触嚥下口腔ケア、栄養管理」をテーマに、広島記念病院・坂田温子様、吉島病院・坂本 藍様、JR広島病院・園田 さおり様より、ご講演を頂きました。第二部では「クリティカルパスの再検討」をテーマに、広島赤十字原爆病院・高橋義雄様、安佐市民病院・田村 真佐美様、中電病院・石橋克彦様、呉医療センター・竹中恵子様より、ご講演を頂きました。第三部では「手術管理室」をテーマに、福山市民病院・中村悦子様、広島市民病院・石部洋一様より、ご講演を頂きました。各テーマとも、各病院の取り組みについて活発な意見交換が積極的になされ、有意義なセッションとなりました。

本学術集会の開催にあたって、ご協力くださった関係各位の皆様には心より感謝申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

第18回九州・山口連合大会

会長：国立病院機構宮崎東病院名誉院長 比嘉利信

2019年9月20日(金)～21日(土)の2日間にわたり、宮崎市シーガイア・コンベンションセンターにて、日本医療マネジメント学会第18回九州・山口連合大会を開催いたしました。台風接近のため、あいにくの天候となりましたが、素晴らしい会場で和やかな雰囲気のもと、活発な討議が行われました。

連合大会のテーマは「地域における多職種連携のあり方ー患者中心の医療・介護をめざしてー」とし、プログラムは特別講演3題、教育セミナー2題、シンポジウム4題、ランチョンセミナー8題、一般口演185題、



会場風景

クリティカルパス12題にて構成しました。それぞれテーマに沿った充実した内容の議論が展開され、医療・介護・福祉の現場を支えている学会

会員にとって、充実した有意義な連合大会だったと思います。また市民公開講座も盛況で、宇宙への夢を運ぶ「はやぶさ」の講演は大変印象深く、連合大会に華を添えてくれました。

本連合大会開催にあたりご支援、ご協力を賜りました関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

第17回東北連合会・第10回岩手県支部学術集会

学術集会会長：岩手県立中部病院院長 伊藤達朗



会場風景

2019年9月21日(土)、岩手県立中央病院を会場に第17回日本医療マネジメント学会東北連合会学術集会と同日開催しました。

「より良い職場環境を目指して～医療の質向上に繋がる組織文化を考える～」をテーマに、一般演題46題、特別講演2題、シンポジウムおよびランチョンセミナー各1題で構成し、参加者数は253名でした。

特別講演では、「ストレスを力に変える、ことば術～アナウンサー人生が教えてくれたこと～」と題しフリーアナウンサーの三宅民夫氏より、「医療安全と心理的安全性」と題し上尾中央総合病院の長谷川剛氏より講演をいただきました。

シンポジウムでは、「より良い職場環境の創り方」をテーマに、北福島医療センターの志賀 隆氏、石巻赤十字病院の高橋純子氏、日本産業カウンセラー協会の藤村七美氏、山形県立中央病院の石塚后彦氏の4名をパネリストに職場の課題について活発な議論が行われました。

一般演題では、医療の質、医療安全、医療メデイエーション、クリティカルパス、ワーク・ライフ・バランスなど多岐にわたる発表が行われ、活発な意見交換が行われました。